

2022年度 第2四半期
決算説明資料

株式会社ユー・エス・エス
2022年11月

2022年度（2023年3月期）：2022年4月1日～2023年3月31日

CEOを務めております安藤でございます。

本日は大変お忙しいところ、「2022年度 第2四半期 決算説明会」にご参加いただき、誠にありがとうございます。

先程、事務局からご案内しましたとおり、今回から、質疑応答をチャット形式から、皆様と双方向でやりとりできるようなシステムを変更しております。

まずは、私から、決算説明資料に沿って説明し、その後、質疑応答に入ります。時間の許す限り、ご質問をお受けしたいと思います。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。

それでは、資料の4ページをご覧ください。

目次

I : 2022年度第2四半期 連結業績の概要 P.3

1. 2022年度第2四半期 決算のポイント
2. 2022年度第2四半期 連結業績概要
3. セグメント売上・利益の状況
4. 2022年度第2四半期 営業利益増減分析（実績）
5. 連結貸借対照表・キャッシュ・フロー要約
6. 市場動向
7. オートオークションのセグメント
8. 中古自動車等買取販売のセグメント
9. リサイクルのセグメント
10. TOPICS GMS社との提携による新たなオートローン提供

II : 2022年度 通期連結業績予想 P.17

1. 2022年度 通期連結業績予想
2. 2022年度下期 営業利益増減分析（予想）
3. 2022年度 営業利益増減分析（予想）
4. 2022年度 セグメント別売上予想

III : 市場環境認識と中期的な価値創造に向けた戦略 P.22

1. オートオークション市場とUSSのシェア
2. 長期成長イメージ
3. ROE向上と中期計画
4. 財務と株主還元に関する基本方針
5. 株主還元：配当政策
6. 株主還元：総還元性向
7. 事業成長と株主還元による企業価値向上サイクル
8. ESGに関する取り組み

IV : ご参考 P.33

1. USSのビジネスモデル
2. 自動車市場とUSSの収益の関係
3. 新車・中古車登録台数とオートオークション市場の推移
4. 補足資料

2022年度第2四半期
連結業績の概要

2022年度 第2四半期 決算のポイント



2Q実績

■ 売上高 424億円

(前年同期比106.6%)

■ 営業利益 212億円

(前年同期比103.2%)

- 中古車流通台数が減少する中、USS出品台数は微減するも、成約率は上昇。(出品台数135万台(前年同期比99.6%)、成約台数90万台(前年同期比103.7%)、成約率67.0%)
- 中古自動車等買取販売は、高騰するオークション相場などにより増収増益。
- リサイクルは解体工事の受注件数が増加するも増収減益。

通期予想

■ 22年度通期業績予想を上方修正。

- 上期の上振れを反映し上方修正。下期計画に変更なし。

■ 売上高 855億円

- 当初計画比101.7%
- 通期台数計画は、出品台数281万台(当初計画比98.5%)、成約台数185万台(当初計画比100.5%)、成約率66.0%(当初計画64.7%)

■ 営業利益 434億円

- 当初計画比100.8%

株主還元

■ 1株当たり年間配当予想を

67.5円へ上方修正。

※23期連続増配を目指す

- 配当に関する基本方針：19年度より連結配当性向を55%以上に引き上げ
- 自己株式を取得
 - 21/11～22/5まで509万株/96億円の自己株式を取得。
 - 連結配当性向55%以上を確保するため、1株当たり配当を上方修正。

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

4

本日、ご説明のポイントは、3つでございます。

1つ目は、第2四半期の連結業績でございます。

4月から9月の中古車流通市場を見ますと、新車販売は依然として納期の長期化や、一部の車種では受注停止などが続いており、新車の買替えにより発生する中古車の流通台数は減少しております。

オークション市場全体を見ましても、前年同期比で出品台数は96.2%、成約台数は98.2%と取扱台数が減少しておりますが、USSは、出品台数で前年同期並みを確保、成約台数は前年同期比103.7%と競争力を発揮し、連結業績は、売上高および利益項目すべてで過去最高を記録いたしました。

2つ目のポイントは、通期の業績予想ですが、上期の計画に対する上振れ分を、通期業績予想に上乘せするかたちで上方修正いたします。

下期の事業環境をみますと、9月、10月と新車登録台数は回復基調であり、USSの出品台数も、前年同月比で9月が106.8%、10月が110.9%と、中古車の流通台数全体が回復してきている状況であり、下期の計画は十分に達成できると思います。

3つ目のポイントは株主還元です。

1株当たりの年間配当予想を、67円50銭に上方修正いたします。

これは、上期で自己株式を取得しましたが、配当に関する基本方針である連結配当性向55%以上を確保するため、引き上げたものであります。

2022年度 第2四半期 連結業績概要



- 売上高424.2億円（前年同期比106.6%）、営業利益212.2億円（前年同期比103.2%）、親会社株主に帰属する四半期純利益146.1億円（前年同期比102.7%）。
- 売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益のすべてにおいて、過去最高を記録。

（単位：百万円）

	2021年度1-2Q	(売上比)	2022年度1-2Q	(売上比)	前年同期比	当初計画 5/10発表	(売上比)	計画比
売上高	39,784		42,429		106.6%	41,000		103.5%
売上原価	14,746	37.1%	16,467	38.8%	111.7%	15,422	37.6%	106.8%
売上総利益	25,038	62.9%	25,962	61.2%	103.7%	25,577	62.4%	101.5%
販売費及び一般管理費	4,467	11.2%	4,741	11.2%	106.1%	4,717	11.5%	100.5%
営業利益	20,570	51.7%	21,220	50.0%	103.2%	20,860	50.9%	101.7%
経常利益	20,945	52.6%	21,586	50.9%	103.1%	21,210	51.7%	101.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	14,223	35.8%	14,614	34.4%	102.7%	14,700	35.9%	99.4%

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

5

ご覧のスライドは、決算のポイントでご説明しました2022年度第2四半期の連結業績です。

売上高は、前年同期比 106%、計画比 103%の424億円

営業利益は、前年同期比 103%、計画比 101%の212億円

経常利益は、前年同期比 103%、計画比 101%の215億円

親会社株主に帰属する四半期純利益は、
前年同期比 102%、計画比 99%の146億円となり、

売上高、全ての利益項目で過去最高を記録いたしました。

セグメント売上・利益の状況



(単位：百万円)

売上高	2020年度1-2Q	2021年度1-2Q	2022年度1-2Q	前年同期比
オートオークション	28,246	31,929	33,168	103.9%
中古自動車等買取販売	3,571	4,229	5,049	119.4%
リサイクル	2,254	3,579	4,162	116.3%
その他	205	46	48	103.8%
合計	34,277	39,784	42,429	106.6%
営業利益（営業利益率）	2020年度1-2Q	2021年度1-2Q	2022年度1-2Q	前年同期比
オートオークション	15,698 (55.2%)	19,852 (61.9%)	20,434 (61.4%)	102.9%
中古自動車等買取販売	98 (2.8%)	85 (2.0%)	211 (4.2%)	247.2%
リサイクル	38 (1.7%)	589 (16.5%)	527 (12.7%)	89.5%
その他	16 (7.1%)	32 (70.2%)	36 (75.4%)	111.5%
調整額	50 (-)	9 (-)	9 (-)	101.2%
合計	15,901 (46.4%)	20,570 (51.7%)	21,220 (50.0%)	103.2%

※1 売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

※2 2022年度第2四半期より、「その他」に含まれていた「リサイクル」を報告セグメントとし、2020年度第2四半期、2021年度第2四半期の数値は変更後の区分に基づき作成しております。

6

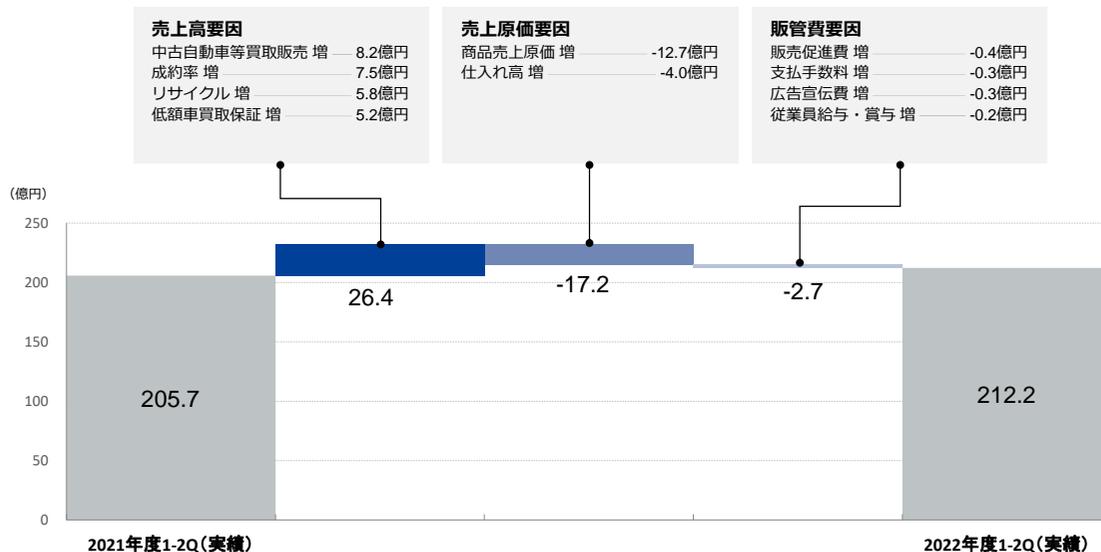
次に、セグメントごとの売上高・営業利益です。

まず、2022年度第2四半期の開示からセグメント区分を組み替えており「その他」に入っておりましたリサイクルを独立させました。

後程、リサイクルのところでもご説明しますが、リサイクルのうち、子会社アビズで行っている鉄・非鉄金属などを再資源化する資源リサイクル事業と、株式会社SMARTで行っている解体物件の元請事業をするプラントリサイクル事業に区分して開示しておりますので、よろしく申し上げます。

各セグメントの詳細については後程ご説明いたします。

2022年度 第2四半期 営業利益増減分析（実績）



Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

7

こちらは、営業利益の増減を前年上期と比較したチャートです。

まず、売上高の分析ですが、オークションの成約率上昇に伴う各種手数料の増収に加え中古自動車等買取販売も、オークション相場の高騰による粗利益の増加を背景に好調に推移したことや、リサイクルのうち、プラントリサイクル事業において、大型解体案件の受注件数が増加し、昨年度から引き続き好調を維持している結果であります。

次に、低額車買取保証の増加ですが、USSでは、年式の古く、走行距離の多い低額車は、一部コーナーにおいて買取保証を入れたセリを行っております。中古車相場全体が上昇したことによって、低額車の買取保証単価が上昇したことが主な要因です。

また、売上原価要因にある、商品売上原価の増加要因の一つも、買取保証した低額車の再販価格が上昇したためであります。

それ以外の売上原価の要因として、中古自動車等買取販売において、オークション相場の高騰により、ユーザーからの買取価格が上昇したことがあります。

仕入れ高の増加要因は、プラントリサイクル事業での大型解体工事に係る取扱い高の増加によるものです。

また、販売管理費につきましては、大きなブレはありません。

連結貸借対照表・キャッシュ・フロー要約



- 投資活動によるキャッシュ・フローは主に定期預金の増加と投資有価証券の取得による支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは主に配当金の支払い。
- 自己資本比率は77.2%

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	2021年度	2022年度 2Q末		2021年度	2022年度 2Q末
流動資産	103,872	113,544	流動負債	37,884	42,831
現金及び預金	79,380	88,628	オークション 借勘定	21,213	28,107
その他	24,491	24,916	その他	16,670	14,723
固定資産	125,481	124,632	固定負債	8,996	8,806
有形固定資産	100,379	99,260	負債合計	46,880	51,637
その他	25,102	25,371	純資産合計	182,473	186,539
資産合計	229,354	238,176	負債・純資産合計	229,354	238,176

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：百万円）

	2020年度 1-2Q	2021年度 1-2Q	2022年度 1-2Q	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	16,644	14,982	20,051	5,069
投資活動による キャッシュ・フロー	-8,067	-914	-4,150	-3,235
フリーキャッシュ・フロー	8,577	14,067	15,901	1,833
財務活動による キャッシュ・フロー	-7,525	-6,453	-8,653	-2,199
設備投資（支出ベース）	8,058	927	1,201	274
減価償却費	2,572	2,446	2,249	-196

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

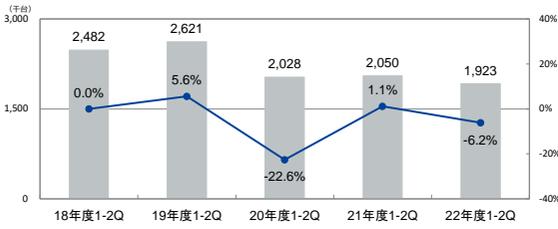
8

次に、連結貸借対照表でございますが、自己資本比率は77.2%と、引き続き、財務の安全性は高水準を維持しております。

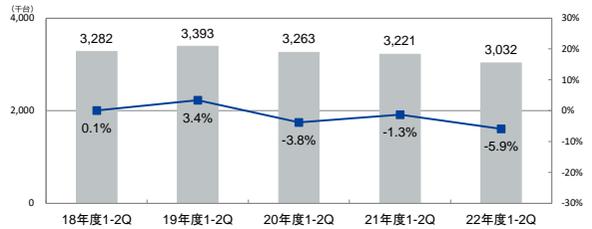
市場動向



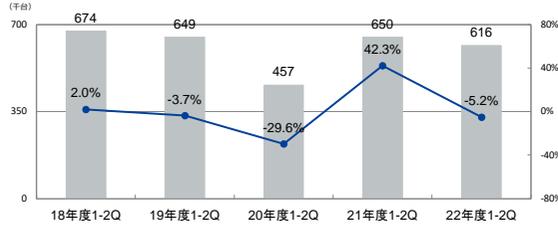
新車登録台数と前年同期比



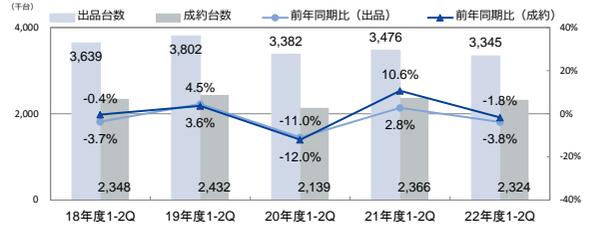
中古車登録台数と前年同期比



中古車輸出台数と前年同期比



AA市場 出品・成約台数と前年同期比



Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

9

ここからは、自動車流通市場の動向をご説明いたします。

新車や中古車の動向は、冒頭ご説明した通りでございます。

中古車輸出台数は、オートオークション市場全体の需要に大きく影響いたしますが、上期は、コンテナ不足や海上輸送費の高騰もあり、前年同期を5%程度下回る結果となりましたが、現在はマレーシア向けの需要が大変伸びております。

オートオークションのセグメント① 概況



■ 出品台数は前年同期並み。成約率上昇などにより増収増益。

出品台数 135.6万台 前年同期比 99.6%	成約台数 90.8万台 前年同期比 103.7%	成約率 67.0% 前年同期実績 64.4%
---------------------------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

オートオークションのセグメント第2四半期業績（累計）

	20年度1-2Q	21年度1-2Q	22年度1-2Q	前年同期比
売上高	28,246	31,929	33,168	103.9%
出品手数料	6,422	7,538	7,595	100.8%
成約手数料	6,365	7,394	7,619	103.0%
落札手数料	9,806	11,367	11,653	102.5%
その他	5,651	5,629	6,300	111.9%
営業利益	15,698	19,852	20,434	102.9%
営業利益率	55.2%	61.9%	61.4%	-



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

10

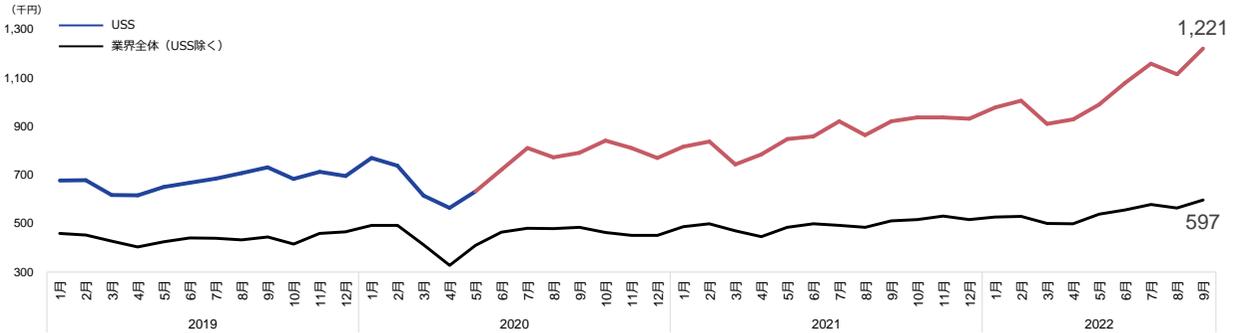
ここからは、オークションのセグメントについてご説明申し上げます。

次のページから詳細なご説明をさせていただきます。

オートオークションのセグメント② 車両単価の推移

- 部品不足により新車供給不足 → 下取り車が減少 → 中古車の流通台数が減少
→ 需給がひっ迫 → オークション相場が高騰
- 1台当たり成約車両金額は2020年6月より連続で前年同期実績を上回る。

1台当たり成約車両金額の推移



※日本のオートオークションにおける出品・成約・落札の各手数料は、成約車両金額にかかわらず車種などのコーナー毎に一律（固定制）となっており、成約車両金額による手数料の変動はありません。

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

11

ご覧のスライドは、2019年1月からのUSSと、USSを除く業界全体の成約車両単価の推移になります。

2020年5月頃から、コロナ禍の影響で移動手段として中古車需要の高まり、世界的な半導体不足による新車の減産による中古車供給不足、円安の進行などの要因により、オークション相場が高騰し、1台あたりの成約車両金額は上昇を続けております。

ご覧いただきますと、USSと、USSを除く業界平均の差ですが、2019年1月あたりは20万円程度であったものが、足元の9月では、60万円程度まで開いております。

この価格差から、小売向けといわれる3年落ち、5年落ちの比較的単価の高い車両は、業界の中でUSSが圧倒的な競争力を持っているものと考えております。

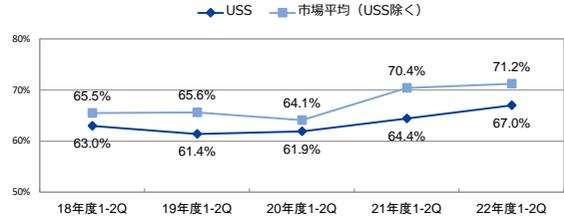
オートオークションのセグメント③ 出品・成約台数等



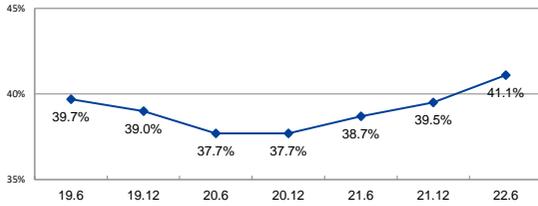
出品・成約台数の推移



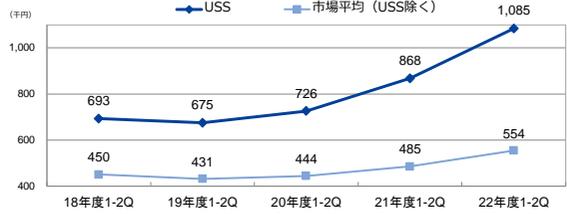
成約率の競合比較



出品台数市場シェアの推移



1台当たり成約車両金額の競合比較



※12月期は暦年の、6月期は半年の数字を記載しております。※JBAの実績は含めておりません。

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

12

こちらのスライドはオークション実績の推移についてご説明したものです。

左下の市場シェアの推移ですが、2022年1月から6月のシェアは41%となっております。シェア増加の要因として3つあります。

1つ目は、新車の代替需要として、高年式・中年式の比較的単価の高い中古車の需要が高まり、この価格帯はUSSが最も得意としていること。

2つ目は、新車販売の減少により、自動車メーカー系列のオークション会場のシェアが低下したこと。

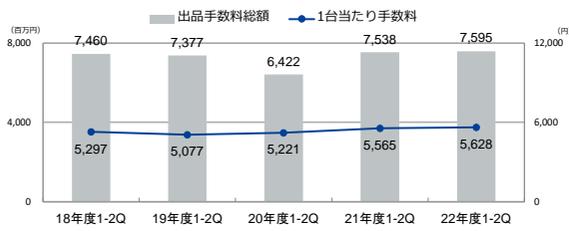
3つ目は、前年同期と比較して、低額車の流通が減少し、低額車を中心の取扱う組合系オークションの出品が減少したことが挙げられます。

今後、新車販売が回復していけば、自動車メーカー系列オークションの出品が回復し、USSのシェアは低下する可能性もありますが、中古車流通台数が増加しますので、結果的に、USSも出品台数は増加していくものと考えております。

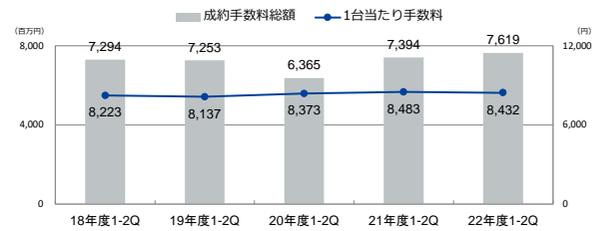
オートオークションのセグメント④ 手数料等



出品手数料総額と1台当たり手数料



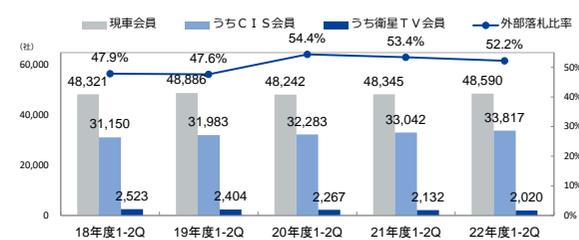
成約手数料総額と1台当たり手数料



落札手数料総額と1台当たり手数料



会員数と外部落札比率



※1台当たり手数料は、連結相殺前の数値をもとに算出しております。※JBAの実績は含めておりません。

※2019年度より外部落札比率の計算方法を見直しております。

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

13

次に、手数料単価の推移についてご説明いたします。

1台当たりの出品手数料ですが、前年同期比63円プラスの5,628円となりました。主なプラス要因としては、東京会場などで手数料単価の高いコーナーへの出品割合が増加したことなどによるものです。

次に、1台当たりの成約手数料ですが、前年同期比51円マイナスの8,432円となりました。主な要因としては、大口店への割り戻しが増加したことなどによるものです。

次に、1台当たりの落札手数料ですが、前年同期比144円マイナスの12,837円となりました。主な要因としては、外部落札比率が減少したことによるものです。

外部落札比率は、コロナ直後と比べると低くなりましたが、コロナ禍前と比べると、いまだ5割を超え、高い水準で推移しています。

中古自動車等買取販売のセグメント

中古自動車買取専門店「ラビット」は、オークション相場が高騰したことや台当たり粗利益の増加により増収増益。

売上高 **2,867** 百万円
前年同期比 120.9%

営業利益 **121** 百万円
前年同期比 171.9%

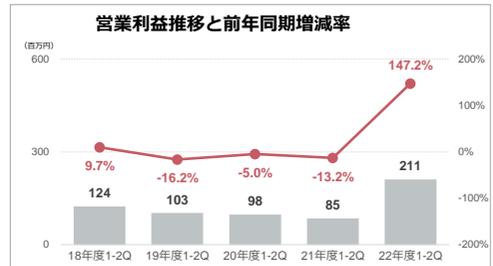
事故現状車買取販売事業は、販売台数の増加や利益率の高い高額車両の取扱台数増加により増収増益。

売上高 **2,181** 百万円
前年同期比 117.5%

営業利益 **90** 百万円
前年同期比 59.7%

中古自動車等買取販売のセグメント第2四半期業績（累計）

	20年度1-2Q	21年度1-2Q	22年度1-2Q	前年同期比
売上高	3,571	4,229	5,049	119.4%
営業利益	98	85	211	247.2%
営業利益率	2.8%	2.0%	4.2%	-



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

ここからは、中古自動車等買取販売のセグメントについて、ご説明いたします。

ラビットですが、オークション相場が高騰したことにより、台当たり粗利益が増加し、売上高は前年同期比120%の28億円、営業利益は前年同期比171%の1億2千万円と増収増益になりました。

事故現状車買取販売事業ですが販売台数が増加したことに加え、利益率の高い高額車両の取扱いが増加しました。この結果、売上高は前年同期比117%の21億円、営業利益は前年同期比59.7%の9千万円と増収増益になりました。

リサイクルのセグメント



資源リサイクル事業は、廃自動車の取扱台数減少や金属スクラップ相場が下落基調へ転じたことにより減収減益。

売上高 **2,613**百万円
前年同期比 97.1%

営業利益 **280**百万円
前年同期比 55.8%

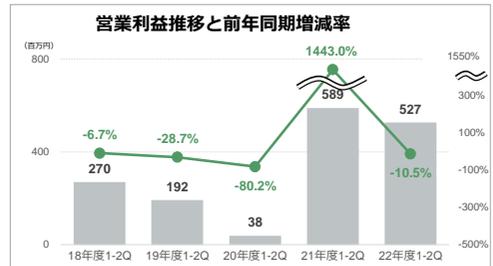
プラントリサイクル事業は、大規模解体工事の受注件数が増加したことにより増収増益。

売上高 **1,549**百万円
前年同期比174.4%

営業利益 **246**百万円
前年同期比286.5%

リサイクルのセグメント第2四半期業績（累計）

	20年度1-2Q	21年度1-2Q	22年度1-2Q	前年同期比
売上高	2,254	3,579	4,162	116.3%
営業利益	38	589	527	89.5%
営業利益率	1.7%	16.5%	12.7%	-



※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表し、営業利益率は「セグメント利益÷セグメント売上」で算出しております。

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

15

次に、リサイクルのセグメントについて、ご説明いたします。

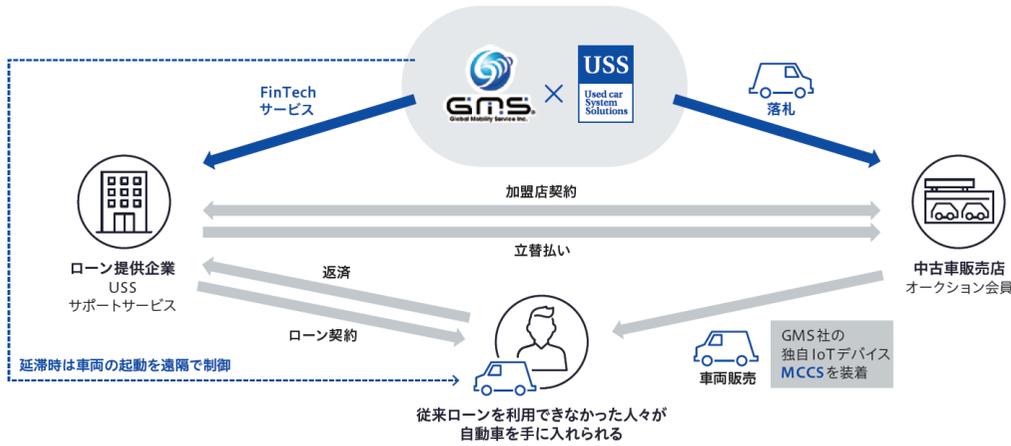
子会社のアビズにて運営している資源リサイクル事業は、廃自動車の取扱台数が減少したことに加え、高値圏で推移していた金属スクラップ相場が、5月から下落局面となり、利幅が縮小いたしました。この結果、売上高は前年同期比97%の26億円、営業利益は前年同期比55%の2億円と減収減益になりました。

株式会社SMARTにて運営しているプラントリサイクル事業は、大規模な解体工事の受注件数が増加いたしました。この結果、売上高は前年同期比174%の15億円、営業利益は前年同期比286%の2億円と増収増益になりました。

TOPICS GMS社との提携による新たなオートローン提供



- 金融包摂型フィンテックサービスを提供するGlobal Mobility Service 株式会社（GMS 社）と資本業務提携。
- 新たなオートローンを開始。さまざまな理由でローンを利用できない人が車を保有できるようになります。
- これによって中古車を購入する人を増やし、オートオークションの活性化にもつなげていきます。



Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

16

次に、5月に発表しましたグローバル・モビリティ・サービス社（通称：GMS社）との資本業務提携の進捗についてご説明いたします。

まず、業務提携内容ですが、自動車ローンの審査が通りにくいフリーランスの方、入社年数の浅い方、過去に滞納履歴がある方、国内に定住する外国人の方に、USSのオークション会員である中古車販売店を代理店として、自動車ローンを提供していくものであります。

オークション会員にお伺いしますと、ローン審査の10件に2, 3件は、審査が通らないケースがあるようです。

ローンを滞納すると、ご自宅などの、いつもの停車している駐車場などに戻ると、エンジンを始動できなくします。滞納が解消すると、エンジンが始動する「MCCS」という装置の製造と、滞納・エンジン停止・支払い・エンジン停止解除のフィンテックサービスを提供しているのが、GMS社です。

当社は、このGMS社に10億円を出資し、国内におけるMCCSの独占販売権を獲得し、両社でタッグを組んで、USSのオークション会場で代理店募集活動を行っております。

現在、許認可の取得をしてありますが、早ければ年明け1月頃からサービスインできると思いますので、来年5月の決算説明会で、どの程度の成果があげられているかをご報告できると思います。

2022年度
通期連結業績予想

2022年度 通期連結業績予想



- 連結業績予想を修正・・・上期はオークション成約率の上昇や、プラントリサイクル事業の受注件数増加などにより、業績予想を上回る。上期業績を反映し、通期予想を修正。
- オークション取扱台数を修正・・・出品台数281万台（当初計画比98.5%）、成約台数185万台（当初計画比100.5%）、成約率66.0%（当初計画64.7%）

（単位：百万円）

	2021年度（実績）	2022年度当初計画 5/10発表	修正額	2022年度修正計画 11/8発表	修正計画／前期比
売上高	81,482	84,100	1,429	85,529	105.0%
売上総利益（売上比）	50,772 (62.3%)	52,685 (62.6%)	384	53,070 (62.0%)	104.5%
営業利益（売上比）	41,574 (51.0%)	43,100 (51.2%)	360	43,460 (50.8%)	104.5%
経常利益（売上比）	42,374 (52.0%)	43,800 (52.1%)	376	44,176 (51.7%)	104.3%
親会社株主に帰属する当期純利益（売上比）	29,745 (36.5%)	30,000 (35.7%)	-	30,000 (35.1%)	100.9%
1株当たり当期純利益（円）	119.80	122.68	-0.02	122.66	102.4%
設備投資(支出ベース)	2,036	6,800	-800	6,000	294.6%
減価償却費	4,959	4,770	-22	4,748	95.7%

※修正計画の1株当たり当期純利益の変更は、2022年9月末までの自己株式の増減数を加味して再計算したものです。

オートオークション事業(JBA除く)	2021年度（実績）	2022年度当初計画 5/10発表	修正額	2022年度修正計画 11/8発表	修正計画／前期比
出品台数（千台）	2,731	2,860	-43	2,816	103.1%
成約台数（千台）	1,787	1,850	8	1,858	104.0%
成約率	65.4%	64.7%	1.3p	66.0%	-

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

18

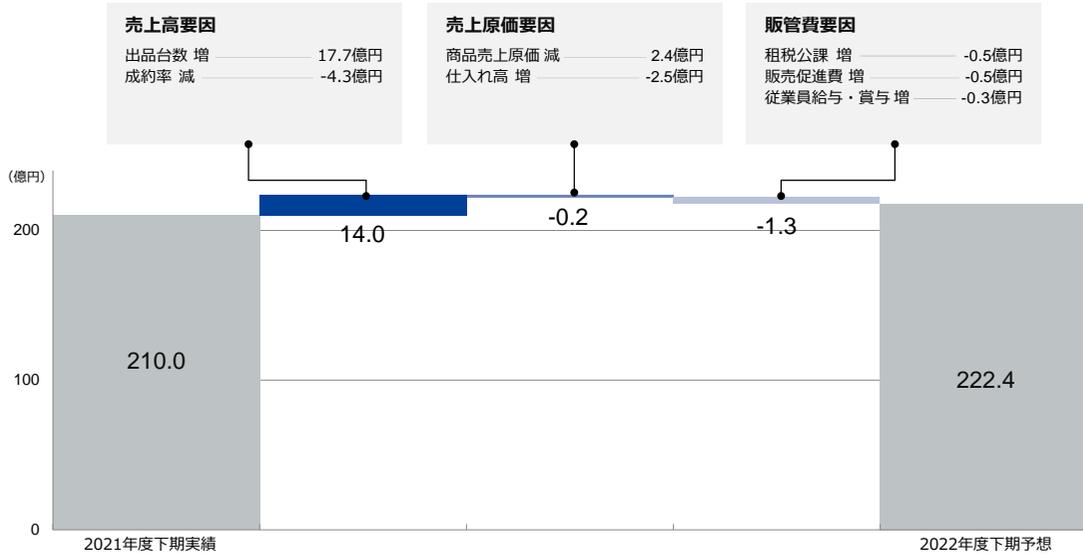
ここからは、通期業績予想についてご説明いたします。

冒頭申し上げましたとおり、第2四半期までの業績は、計画を上回り、過去最高を記録しましたので、この上振れ分を上方修正し、通期業績予想を修正いたしました。

次ページ以降に、下期、通期の営業利益の変動要因やセグメント単位の業績予想を記載しておりますので、後程ご覧いただけますと幸いです。

それでは、23ページをご覧ください。

2022年度 下期 営業利益増減分析（予想）



2022年度 営業利益増減分析（予想）

売上高要因

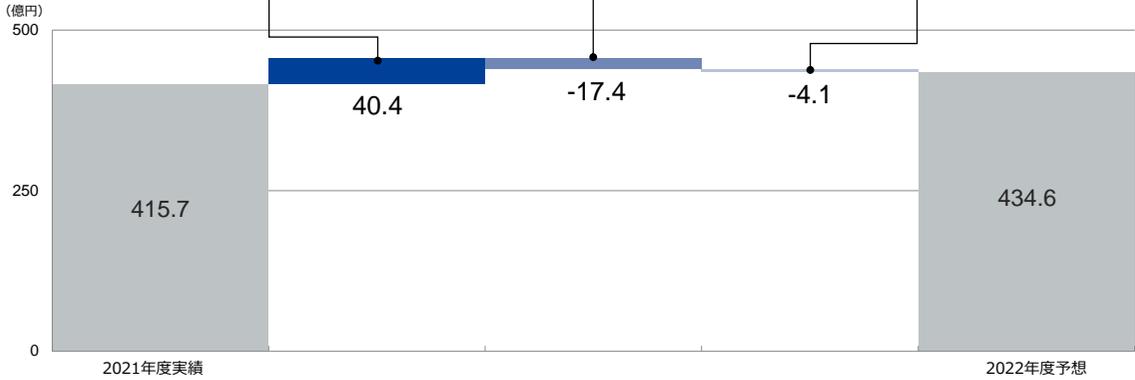
出品台数 増	16.5億円
中古自動車等買取販売 増	7.9億円
リサイクル 増	5.7億円
低額車買取保証 増	4.9億円
成約率 増	3.4億円

売上原価要因

商品売上原価 増	-10.2億円
仕入れ高 増	-6.5億円

販管費要因

販売促進費 増	-0.9億円
従業員給与・賞与 増	-0.6億円
租税公課 増	-0.6億円
支払手数料 増	-0.3億円
旅費交通費 増	-0.3億円



2022年度 セグメント別売上予想



(単位：百万円)

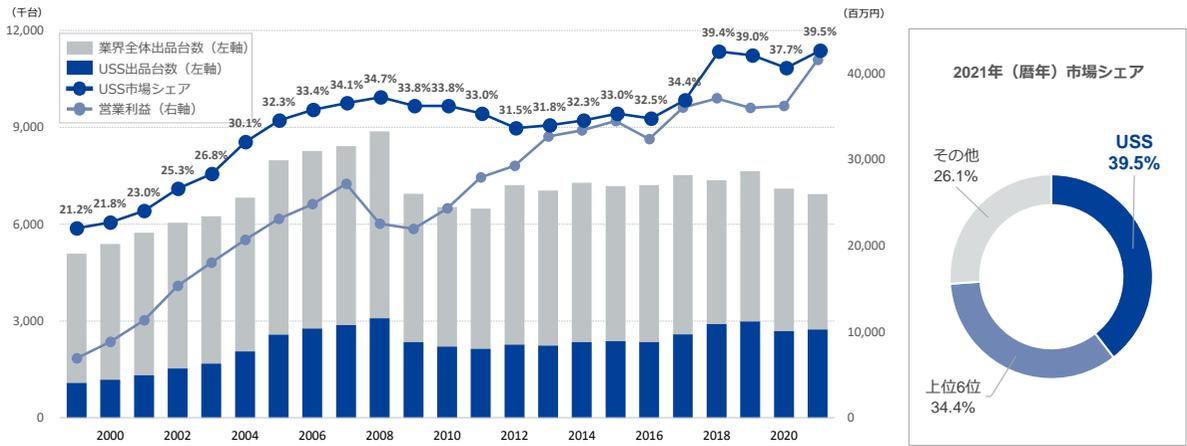
	2021年度 (実績)	2022年度当初計画 5/10発表	修正額	2022年度修正計画 11/8発表	修正計画/前期比
売上高					
オートオークション	64,858	67,035	496	67,532	104.1%
中古自動車等買取販売	9,300	9,989	107	10,097	108.6%
リサイクル	7,238	6,991	823	7,814	108.0%
その他	85	83	2	85	99.8%
合計	81,482	84,100	1,429	85,529	105.0%
営業利益 (売上比)	41,574 (51.0%)	43,100 (51.2%)	360	43,460 (50.8%)	104.5%

市場環境認識と中期的な価値創造に向けた戦略

オートオークション市場とUSSのシェア



- 金融危機(2008-2009年)以降、市場が伸び悩む中でも高シェアを維持しながら利益を拡大。
- EV化や自動運転の普及などにも対応し、さらに市場シェア拡大を目指す。



Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

23

ここからは市場環境と中期的な取り組みについてご説明いたします。
まず、1990年から現在に至るまでの市場シェアの推移でございます。

長期で見ますと、USSの市場シェアは、堅調に成長してきたことがご理解いただけると思います。

自動車業界は、100年に一度の変革期と言われておりますが、USSは、電気自動車、自動運転の普及などにも対応し、更に市場シェアを拡大することで、安定成長していきたいと考えております。

今後、EV車の普及に備え、準備を進めてまいります。EV車の評価を行うため、バッテリーの劣化診断が重要になります。そのため、当社では機材（デバイス）の開発に他の企業とともに取り組んでまいります。

長期成長イメージ

- 循環型社会への貢献を高めながら、事業を拡大。

2050年に向けてもう一つの柱となる事業を育成していく

事業規模拡大

リサイクル事業
など

安定収益の確保

オートオークション
事業

2050

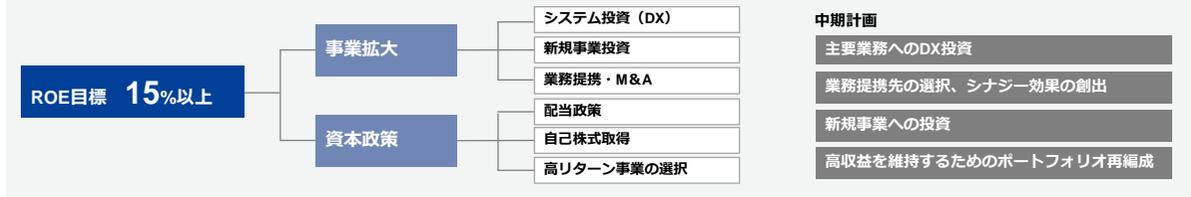
ご覧のスライドは当社の長期成長イメージです。
安定的な収益源であるオークション事業を核に、リサイクル事業などの規模拡大に取り組んでいきます。

先ほどご説明したGMS社との提携も事業規模拡大に向けた取り組みの一つになると考えております。

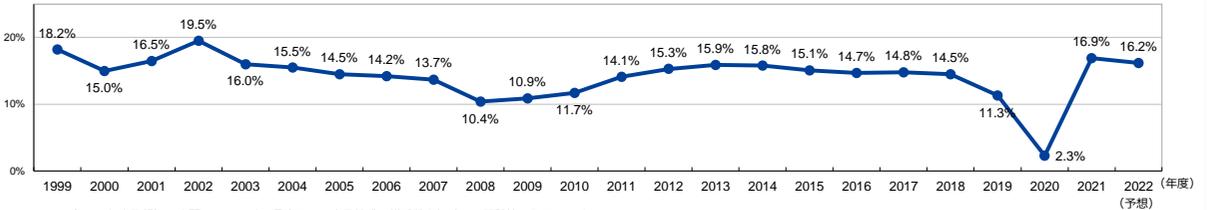
ROE向上と中期計画

■ 株主資本利益率（ROE）：中期的に15%以上の水準維持を目指す。

ROE向上と中期計画のアクション



ROEの推移



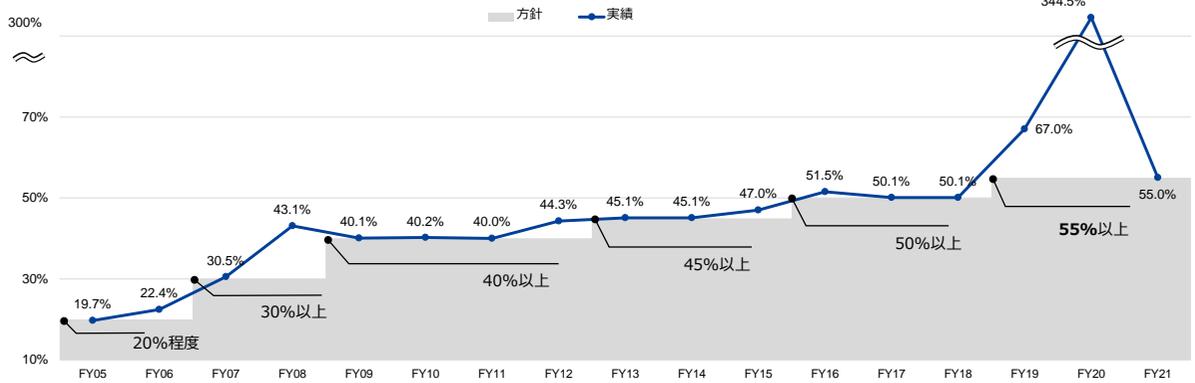
ご覧のスライドは、USSの「事業拡大」と「資本政策」について、中期的にROE15%以上の水準維持を目指すためのテーマや中期計画を記載しております。

また、6月に改定した役員報酬制度では、単年度の役員賞与や、中期的な株式報酬について、業績連動指標の1つとして、ROE15%を達成率100%として連動する制度に改訂いたしました。これは、経営陣の、ROEを15%以上に向けたコミットであり、こだわっていききたい数値であります。

財務と株主還元に関する基本方針①

- 成長投資とともに株主還元の充実を継続。
- 連結配当性向：2019年度より55%以上に引き上げ。

連結配当性向の推移



Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

26

今後の株主還元に関する基本方針についてご説明します。
まず、配当に関する基本方針ですが、これまで連結配当性向の数値を掲げ、段階的に引上げを行っており、2019年度からは55%以上としております。

財務と株主還元に関する基本方針②

- 自己株式取得：キャッシュ・フロー、設備投資計画、市場環境等を考慮のうえ、機動的に実施。
- 2021年11月～2022年5月にて自己株式取得を実施。
- 2022年6月30日付けで自己株式5,625万株を消却。
自己株式の発行済み株式総数に対する割合は4.81%（2022年9月末現在）。

直近の自己株式取得状況

取得株式の種類	当社普通株式
取得期間	2021年11月9日～2022年5月31日
取得株式の総数	5,098,500株
取得価額の総額	9,605,031,800円
取得方法	市場取引

2021年11月から2022年5月まで、509万株、96億円の自己株式取得を実施しました。

株主還元：配当政策



- 2022年度の1株当たり年間配当金：67.4円→67.5円へ上方修正（前期比1.3円増）を予想。
- 株式上場以来23期連続増配予想。



Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

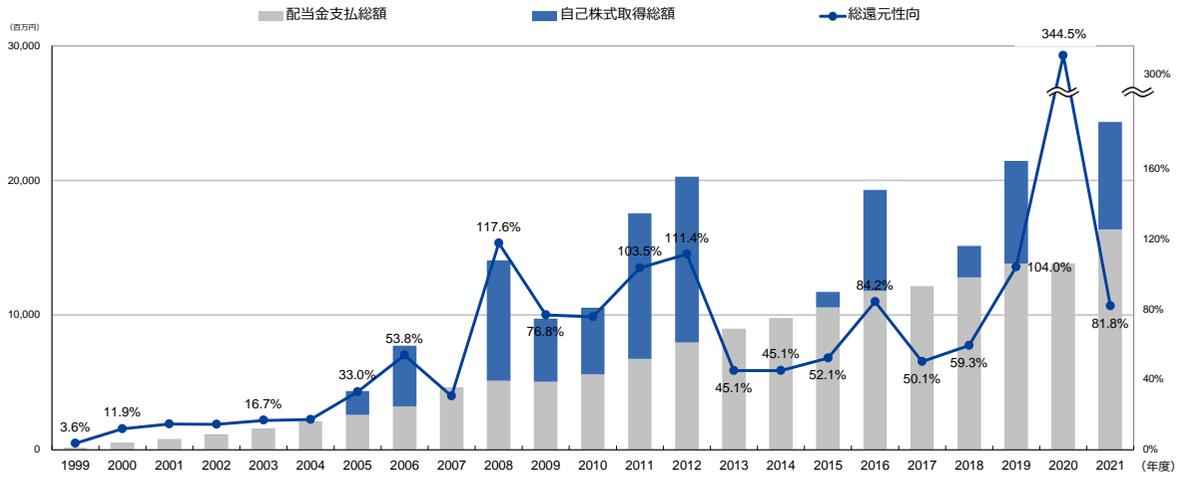
28

こちらのスライドは、株式上場以来の配当の推移でございます。
冒頭でご説明のとおり2022年度の1株当たり配当金は、67円50銭と
上方修正いたしました。23期連続増配を目指して頑張っているところで
ございます。

次は30ページをご覧ください。

株主還元：総還元性向

■ 安定的な配当とともに、機動的な自己株式取得を実施。



ESGに関する取り組み



■ 持続的な成長に向けて、着実にESGの取り組みを推進。

環境	社会	ガバナンス						
<p>■ TCFD提言への対応</p> <p>TCFD（気候関連財務情報開示タスクフォース）の提言に基づき、気候変動に関するガバナンス、戦略、リスク管理、指標と目標について情報を開示。</p> <p>2030年度CO2削減目標（対2020年度） スコープ1・2排出量（t-CO2）</p> <p>42%削減</p> <p>スコープ3排出量（t-CO2）</p> <p>25%削減</p>	<p>■ 女性活躍推進に向けた研修</p> <p>管理職層と女性社員のそれぞれに対し、組織づくりや働き方改革に関する研修を実施。女性管理職比率は2025年度に5%、2030年度に10%を目指す。</p> <p>研修開催実績</p> <table border="1"><thead><tr><th>対象</th><th>参加人数</th></tr></thead><tbody><tr><td>管理職層</td><td>約 60名</td></tr><tr><td>女性社員 (管理職候補)</td><td>約 50名</td></tr></tbody></table>	対象	参加人数	管理職層	約 60 名	女性社員 (管理職候補)	約 50 名	<p>■ 報酬制度を改定</p> <p>持続的な成長に向けた健全なインセンティブを機能させることを目指して報酬制度を改定。業績連動型株式報酬は、TSR・ROE実績やESGに関する外部評価に連動。</p> <p>■ コーポレートガバナンス・コード改定版への対応</p> <p>各原則をすべて実施。</p>
対象	参加人数							
管理職層	約 60 名							
女性社員 (管理職候補)	約 50 名							

ESG情報の詳細は、統合報告書をご覧ください。 <https://www.ussnet.co.jp/ir/library/annual/>

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

31

最後に、当社のESGに関する取り組みについてです。

気候変動への対応でございますが、6月提出のコーポレートガバナンス報告書にて要請されているTCFDに沿った開示をいたしました。現在は、CO2削減に向けて、全国のオークション会場に太陽光発電システムの導入を進めているほか、CO2フリー電源の導入なども進めております。

Gのガバナンスですが、先程ご説明したとおり業績連動型の役員報酬制度を改訂し、評価係数の一部には、CDPやMSCIの評価に連動する仕組みを導入いたしました。

このような取り組みは、Webサイトにアップしております今年の統合報告書にも掲載しておりますのでご覧ください。

今後とも、サステナビリティに対して具体的な取り組みを進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

IRに関するお問い合わせ

株式会社ユー・エス・エス
統括本部 総務部

電話 : 052-689-1129

E-mail : irinfo@ussnet.co.jp

<注意事項>

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画の基となる前提や予測を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。
- 本資料には、監査を受けていない参考数値が含まれます。
- 本資料の金額は、表示単位未満の端数を切捨てて表示しております。
- 本資料の百分率(%)は、小数点第2位を四捨五入して表示しております。

出所

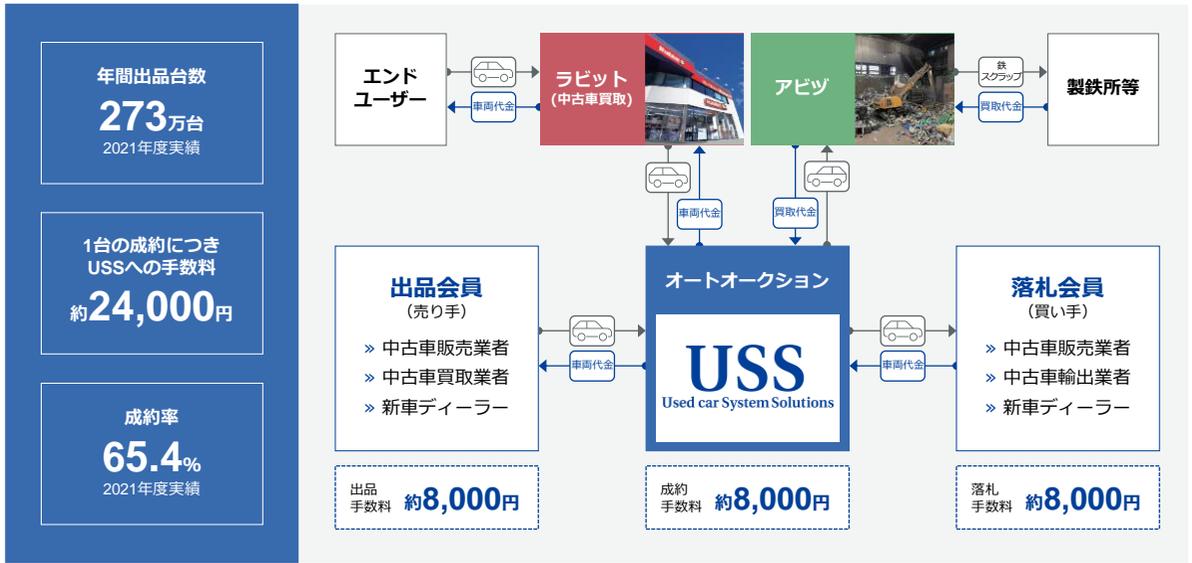
(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)全国軽自動車協会連合会、(株)ユーストカー、財務省貿易統計

最後となりますが、ご質問などがございましたら、こちらまでメールまたはお電話をいただきますよう、お願いいたします。

私からの説明は以上となります。
誠にありがとうございました。

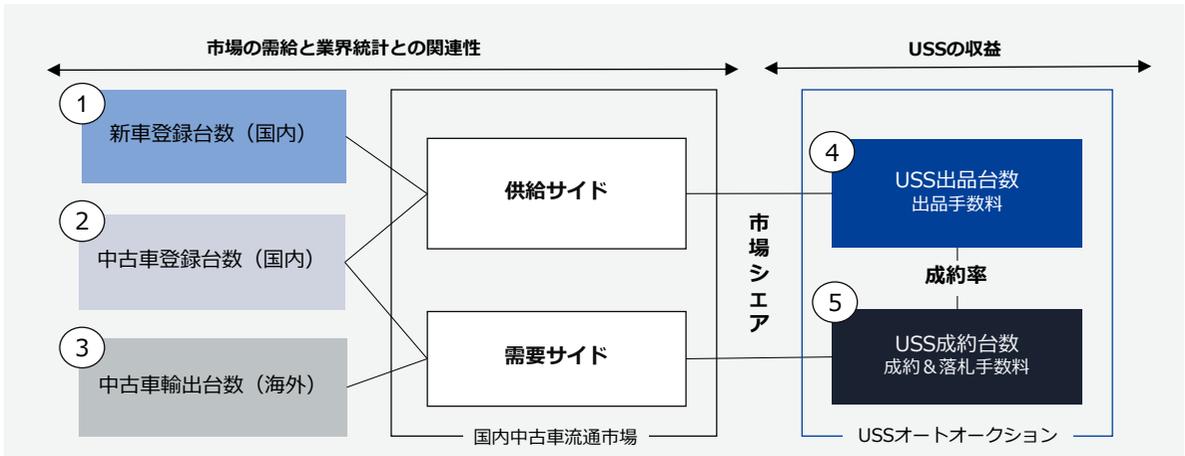
ご参考

USSのビジネスモデル



自動車市場とUSSの収益の関係

- オートオークション市場への中古車供給台数は、下取りを通して①新車登録台数と②中古車登録台数に連動。
- 需要サイドは国内外の中古車需要（②③）であり、近年は海外（輸出）が牽引。
- 上記市場要因に加え、オートオークション市場における市場シェア及び成約率が、USSオートオークションの収益変動要因となる。

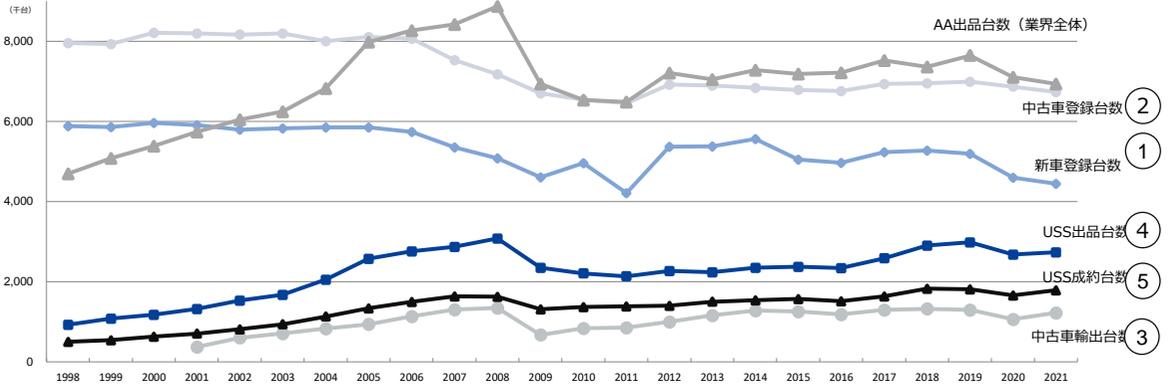


新車・中古車登録台数とオートオークション市場の推移



- 2000年頃までは中古車流通におけるオークション利用率上昇により、オートオークション市場が拡大。
- 2000年代半ば以降は、低年式・多走行車などそれまで解体されていた車両がオートオークション会場へ流入し、オークション出品台数の増加が続いた。
- 金融危機（2008年後半）以降のオートオークション市場は新車登録台数（供給）と中古車輸出台数（需要）におおむね連動。

新車・中古車登録台数、中古車輸出台数とオークション出品・成約台数の推移（暦年）



Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

補足資料：オートオークション 会場別データ (2022年4月から9月まで)



(単位：回、台)

	開催数		出品台数			成約台数			成約率	
	22年度1-2Q	21年度1-2Q	22年度1-2Q	21年度1-2Q	前年同期比	22年度1-2Q	21年度1-2Q	前年同期比	22年度1-2Q	21年度1-2Q
東京	24	25	331,190	332,389	99.6%	231,912	226,495	102.4%	70.0%	68.1%
名古屋	25	24	219,775	227,874	96.4%	137,767	130,801	105.3%	62.7%	57.4%
HAA神戸	24	24	120,634	108,007	111.7%	79,207	64,124	123.5%	65.7%	59.4%
九州	24	24	99,584	94,295	105.6%	68,480	60,160	113.8%	68.8%	63.8%
大阪	25	24	93,134	102,062	91.3%	56,270	56,853	99.0%	60.4%	55.7%
横浜	24	24	89,810	87,824	102.3%	61,897	59,282	104.4%	68.9%	67.5%
札幌	24	24	70,434	68,064	103.5%	51,209	47,407	108.0%	72.7%	69.7%
静岡	24	24	52,910	51,844	102.1%	29,425	32,650	90.1%	55.6%	63.0%
R-名古屋	24	24	45,247	50,850	89.0%	38,829	43,479	89.3%	85.8%	85.5%
神戸	24	24	44,571	40,903	109.0%	26,902	23,974	112.2%	60.4%	58.6%
JAA	24	24	33,442	36,474	91.7%	16,625	20,351	81.7%	49.7%	55.8%
岡山	24	24	29,879	32,224	92.7%	23,353	25,007	93.4%	78.2%	77.6%
東北	24	24	27,372	25,687	106.6%	22,163	20,548	107.9%	81.0%	80.0%
群馬	24	24	24,999	25,008	100.0%	16,912	17,678	95.7%	67.7%	70.7%
新潟	24	24	23,563	27,112	86.9%	14,551	15,507	93.8%	61.8%	57.2%
埼玉	25	24	22,506	22,942	98.1%	14,340	13,444	106.7%	63.7%	58.6%
福岡	24	24	17,779	18,590	95.6%	11,722	12,168	96.3%	65.9%	65.5%
北陸	24	24	9,415	9,393	100.2%	7,056	6,671	105.8%	74.9%	71.0%
合計	435	433	1,356,244	1,361,542	99.6%	908,620	876,599	103.7%	67.0%	64.4%

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

※JBAの実績は含めておりません。

補足資料：オートオークション 月次推移の詳細



(単位：台、%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	年度
出品台数	FY20	255,293	180,384	196,014	217,449	166,982	221,001	1,237,123	250,352	228,129	207,446	207,691	242,073	288,270	1,423,961	2,661,084
	増減率	-3.8	-27.4	-23.9	-13.0	-20.6	-3.6	-15.3	-1.0	-11.3	5.6	-1.8	-3.9	-1.7	-2.7	-9.0
	FY21	249,661	226,767	237,143	248,298	167,498	232,175	1,361,542	225,057	211,642	200,338	194,069	233,948	305,073	1,370,127	2,731,669
	増減率	-2.2	25.7	21.0	14.2	0.3	5.1	10.1	-10.1	-7.2	-3.4	-6.6	-3.4	5.8	-3.8	2.7
	FY22	274,614	198,401	238,574	223,724	173,070	247,861	1,356,244	249,529						249,529	1,605,773
	増減率	10.0	-12.5	0.6	-9.9	3.3	6.8	-0.4	10.9						-	-
成約台数	FY20	119,644	96,174	126,384	150,887	118,526	153,725	765,340	166,954	145,090	127,329	132,226	156,459	187,412	915,470	1,680,810
	増減率	-23.8	-36.1	-17.5	-2.0	-10.0	2.1	-14.7	6.7	-3.9	10.4	1.2	-1.0	14.3	4.6	-5.2
	FY21	152,866	145,088	151,456	156,301	113,210	157,678	876,599	153,735	147,200	130,978	130,829	155,225	192,736	910,703	1,787,302
	増減率	27.8	50.9	19.8	3.6	-4.5	2.6	14.5	-7.9	1.5	2.9	-1.1	-0.8	2.8	-0.5	6.3
	FY22	163,077	131,149	160,958	156,355	124,811	172,270	908,620	161,241						161,241	1,069,861
	増減率	6.7	-9.6	6.3	0.0	10.2	9.3	3.7	4.9						-	-
成約率	FY20	46.9	53.3	64.5	69.4	71.0	69.6	61.9	66.7	63.6	61.4	63.7	64.6	65.0	64.3	63.2
	FY21	61.2	64.0	63.9	62.9	67.6	67.9	64.4	68.3	69.6	65.4	67.4	66.4	63.2	66.5	65.4
	FY22	59.4	66.1	67.5	69.9	72.1	69.5	67.0	64.6						-	-

Copyright©2022 USS Co., Ltd. All Rights Reserved.

※JBAの実績は含めておりません。

補足資料：業界動向



業界動向

(単位：千台)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
新車登録台数	1,225	1,396	1,045	1,371	836	1,192	1,198	1,429	1,034	1,015	968	1,197	888	1,034		
前年同期比	2.8%	8.1%	-16.3%	-10.2%	-31.8%	-14.6%	14.6%	4.2%	23.8%	-14.8%	-19.2%	-16.3%	-14.1%	1.9%		
中古車登録台数	1,672	1,720	1,627	1,908	1,557	1,705	1,694	1,948	1,654	1,566	1,560	1,784	1,543	1,488		
前年同期比	-0.0%	6.9%	-4.5%	-3.0%	-6.9%	-0.8%	4.1%	2.1%	6.2%	-8.2%	-7.9%	-8.4%	-6.7%	-5.0%		
中古車輸出台数	335	314	346	290	186	270	314	269	335	315	304	267	325	291		
前年同期比	-8.5%	2.1%	-0.6%	-3.0%	-44.3%	-13.9%	-9.3%	-7.0%	79.4%	16.7%	-3.3%	-0.9%	-3.0%	-7.6%		

オートオークション市場

(単位：千台)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
出品台数	1,982	1,819	1,833	1,921	1,758	1,624	1,801	1,893	1,853	1,622	1,564	1,745	1,773	1,572		
前年同期比	2.3%	6.9%	0.7%	-4.4%	-11.3%	-10.7%	-1.7%	-1.5%	5.4%	-0.1%	-13.2%	-7.8%	-4.4%	-3.1%		
成約台数	1,238	1,193	1,165	1,217	982	1,156	1,207	1,281	1,243	1,123	1,098	1,207	1,200	1,124		
前年同期比	0.5%	6.9%	-0.9%	-5.6%	-20.7%	-3.0%	3.6%	5.3%	26.5%	-2.9%	-9.1%	-5.8%	-3.4%	0.1%		

補足資料：オートオークション



(単位：百万円)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	16,358	15,415	15,359	16,217	13,302	14,944	15,864	16,937	16,343	15,585	15,664	17,264	16,766	16,401		
前年同期比	0.0%	1.5%	-2.3%	-6.8%	-18.7%	-3.1%	3.3%	4.4%	22.9%	4.3%	-1.3%	1.9%	2.6%	5.2%		
営業利益	8,986	8,538	8,695	9,215	6,835	8,862	9,535	10,229	10,267	9,585	9,493	10,871	10,462	9,972		
前年同期比	-3.4%	2.8%	-1.0%	-7.2%	-23.9%	3.8%	9.7%	11.0%	50.2%	8.2%	-0.4%	6.3%	1.9%	4.0%		

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表しております。

	2019				2020				2021				2022				
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	
出品台数 (千台)	771	689	706	756	631	605	685	738	713	647	637	733	711	644			
成約台数 (千台)	460	436	422	452	342	423	439	476	449	427	431	478	455	453			
成約率	USS	59.7%	63.3%	59.9%	59.8%	54.2%	69.9%	64.1%	64.5%	63.0%	65.9%	67.8%	65.3%	64.0%	70.3%		
	市場平均 (USS除く)	64.3%	67.0%	65.9%	65.6%	56.9%	72.0%	68.9%	69.7%	69.6%	71.4%	71.8%	71.9%	70.2%	72.3%		
1台当たり成約車両金額	USS (千円)	645	708	697	703	643	794	811	795	830	907	936	961	1,000	1,170		
	市場平均(USS除く)(千円)	423	439	444	463	401	481	455	484	474	497	521	517	530	581		
手数料	出品手数料総額 (百万円)	3,869	3,507	3,741	3,928	3,193	3,229	3,757	3,971	3,908	3,629	3,602	4,057	3,935	3,659		
	1台当たり手数料 (円)	5,040	5,118	5,333	5,230	5,083	5,364	5,509	5,413	5,505	5,630	5,685	5,566	5,556	5,707		
	成約手数料総額 (百万円)	3,689	3,564	3,498	3,747	2,791	3,574	3,706	4,015	3,780	3,613	3,662	4,031	3,811	3,807		
	1台当たり手数料 (円)	8,054	8,225	8,335	8,339	8,212	8,503	8,493	8,485	8,461	8,506	8,530	8,471	8,418	8,447		
	落札手数料総額 (百万円)	5,546	5,365	5,216	5,630	4,408	5,397	5,649	6,118	5,817	5,549	5,540	6,168	5,863	5,789		
	1台当たり手数料 (円)	12,040	12,305	12,340	12,443	12,888	12,759	12,864	12,859	12,959	13,004	12,837	12,898	12,898	12,776		
	現車会員	48,767	48,886	48,055	48,182	48,104	48,242	47,859	48,058	48,170	48,345	48,121	48,362	48,428	48,590		
その他	うちC I S会員	31,802	31,983	32,031	31,998	32,059	32,283	32,392	32,538	32,799	33,042	33,219	33,359	33,582	33,817		
	うち衛星T V会員	2,435	2,404	2,377	2,342	2,300	2,267	2,227	2,197	2,163	2,132	2,109	2,081	2,048	2,020		
	外部落札比率	46.5%	48.8%	47.9%	49.0%	55.0%	53.9%	52.8%	52.9%	53.1%	53.7%	52.0%	52.4%	52.0%	52.5%		

※JBAの実績は含めておりません。

補足資料：中古自動車等買取販売／リサイクル／その他



中古自動車等買取販売

(単位：百万円)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	2,067	2,246	2,389	2,396	1,486	2,085	2,469	2,605	2,110	2,119	2,313	2,757	2,302	2,747		
前年同期比	-8.3%	-3.6%	0.9%	-12.8%	-28.1%	-7.2%	3.3%	8.7%	42.0%	1.7%	-6.3%	5.8%	9.1%	29.6%		
営業利益	18	85	27	-27	-83	181	139	33	18	67	76	-25	12	199		
前年同期比	-62.3%	13.4%	-32.3%	-	-	112.4%	413.3%	-	-	-63.1%	-45.3%	-	-34.3%	197.3%		

リサイクル

(単位：百万円)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	1,291	1,138	1,501	1,229	1,179	1,075	1,250	1,324	1,892	1,687	1,841	1,817	2,041	2,121		
前年同期比	7.4%	-2.8%	19.5%	-3.9%	-8.7%	-5.5%	-16.7%	7.7%	60.5%	56.8%	47.3%	37.2%	7.9%	25.7%		
営業利益	133	59	74	42	-43	81	148	189	340	249	304	248	321	205		
前年同期比	-16.7%	-46.1%	-38.5%	-52.7%	-	37.6%	99.8%	344.8%	-	205.5%	105.3%	30.8%	-5.3%	-17.6%		

その他

(単位：百万円)

	2019				2020				2021				2022			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	143	131	141	115	88	116	102	43	24	21	19	19	25	22		
前年同期比	-17.8%	-18.0%	-1.9%	-13.4%	-38.2%	-11.5%	-27.3%	-62.4%	-72.0%	-81.3%	-81.4%	-54.2%	3.7%	3.9%		
営業利益	21	14	19	4	0	16	8	-1	17	15	12	13	19	16		
前年同期比	-39.6%	-57.7%	-4.3%	-63.8%	-98.8%	8.2%	-55.6%	-	6744.3%	-5.5%	45.0%	-	12.7%	10.2%		

※売上高は外部顧客に対するもの、営業利益はセグメント利益を表しております。